

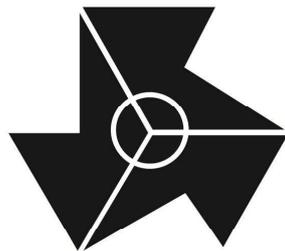
2023(令和5)年度

大阪高等学校春季テニス大会

と き 2023(令和5)年4月1日～4月29日

ところ マリントennisパーク北村・蜻蛉池公園

ミズノスポーツプラザ[※]舞洲・各学校テニスコート



大阪高等学校体育連盟テニス部

大会役員

大会会長 向井 正明 (交 野)

大会委員長 (大会レフェリー)

鈴木 将二 (長 野)

大会副委員長 (アシスタントレフェリー)

遠藤 充建 (河 南) 大内 康弘 (泉 北)
奥田 訓之 (北かわち臯が丘) 下向 真治 (渋 谷)
直川 雅史 (高槻北)

大会委員 (会場レフェリー)

明石 秀夫 (箕面東)	犬伏 誠 (鶴見商業)
岩田 泰一 (池 田)	浦 尊博 (摂 津)
奥井 保亘 (城東工科)	奥井 みなみ (桜 宮)
加藤 裕美 (大 冠)	加藤 祐子 (北摂つばさ)
岸上 啓幸 (関大北陽)	衣笠 和彦 (大阪商業大学)
呉田 未来 (枚方なぎさ)	阪上 哲郎 (槻の木)
桜井 佳奈 (高 石)	笹井 伸郎 (大商学園)
重松 一剛 (吹田東)	下岡 絵里 (東淀川)
新谷 啓 (大阪産業大附属)	鈴木 雄一郎 (日 新)
田井 伸二 (岸和田産業)	辻 博規 (大体大浪商)
徳田 武蔵 (住吉商業)	中井 功 (履正社)
中村 愛美 (伯 太)	仁木 秀雄 (かわち野)
浜本 慎吾 (日 新)	原田 克志 (山 田)
疋田 貴義 (大阪産業大附属)	広田 高雄 (大商学園)
藤井 翼 (枚 方)	藤森 洋弥 (日 新)
守谷 静香 (難波支援)	吉藤 友香 (河 南)

進行係

各高等学校テニス部顧問

大会日程

■ 予 選

4月1日(土) 男女シングルス
2日(日) 男女シングルス
3日(月) 男女ダブルス
4日(火) 予備日
5日(水) 予備日
6日(木) 予備日

各学校・ミズノスポーツプラザ舞洲

(二次予選 4月8日(土)・9日(日) 鶴見緑地)

■ 本戦抽選会

大阪高体連テニス専門部常任委員による代理抽選とし、ドローは、本戦実施日より前に、大阪高等学校体育連盟テニス部ホームページに掲載する。

■ 本 戦

4月16日(日)	男女シングルス	男子	MTP北村	女子	蜻蛉池公園
22日(土)	男女ダブルス	男子	MTP北村	女子	蜻蛉池公園
23日(日)	のこり・順位決定戦	男子	MTP北村	女子	蜻蛉池公園
29日(土)	予備日	男子	MTP北村	女子	MTP北村

※雨天の場合予備日に順延としますが会場で以後の日程の確認をすること。

※ボールは会場で配布。控えに入った選手は本部よりボールを受け取る。

本戦に出場する選手は本戦会場で配布。(予選会場ではボールを受け取らないように)

会場校へ

会場校は雨天などによる日程変更については、必ず解散前に高体連テニス部ホットライン(090-7095-1471)に連絡すること。

会場校は、結果を試合日ごとにを高体連ホットラインhoukoku@osaka-hs-tennis.com まで連絡してください。

例 件名 男子シングルス結果
本文 BS15. 1 田中(箕面北)
BS16. 16 山本(池田東)
(ブロック番号・ドロー番号・選手名・学校名)
会場 堺北高校 中村 大輔



詳細報告は予選終了後、〒565-0802 吹田市青葉台南16-1

大阪府立吹田東高等学校 高体連テニス部 重松 一剛 宛へ送付

詳細報告：ドローに勝者とスコアを記入

※以上の報告がない場合、会場のコート提供ポイントは加算されない

大会注意

1. 試合開始と進行

- ・ 本戦は午前9時、予選は午前9時15分より試合を開始する。
- ・ 試合はオーダーオブプレーにより、原則としてドロースタック順に進行する。
(前の試合が終了すれば、すぐに試合に入ること。5分以内に入らない場合は、失格とすることがある。)
ジャッジは、会場レフェリーが権限として行う。

2. 出席の届け出

- ・ 各会場とも試合開始時間の15分前(本戦 8時45分 予選9時00分)までに、本人が(ダブルスでは二人そろって)更衣の上、大会運営本部デスクに出席を届け出る。届いていない場合は、棄権と見なし失格とする。
本戦は、顧問または学校職員と一緒に出席を届け出る。
- ・ 本戦に受け入れられたプレイヤーは、ウィズドロー(出場取り消し)またはノーショー(無断欠場)に関し、理由書を添えて、文書(FAX可)で主催者に通知しなければならない。
病気または怪我の場合は、ドクターの診断書を主催者に提出しなければならない。

3. 試合について

- ・ 服装は、JTA テニスルールブック2023の服装規定による。不適切なウェア(長ズボン、ロゴなど)は、更衣を求める。更衣しなければ、失格することがある。
- ・ 靴は必ずテニスシューズのこと。
- ・ コート内でのウォームアップはサービス4本とする(会場レフェリーの指示に従うこと)。
- ・ 審判は、セルフジャッジとする(会場レフェリーが、オーバールールする事がある)。
- ・ プレーは連続的に行われなければならない。MTOは筋ケイレンでは認められない。
- ・ 試合が終了すれば、勝者はすぐに結果を本部に報告すること(5分以内に)。
- ・ 時間の管理は、アンパイアおよび会場レフェリーが行う。
- ・ 不適切なジャッジは、会場レフェリーが権限としてオーバールールする。
- ・ 一人が連続して試合をしなければならないときの休憩はレフェリーが考慮、判断する。
- ・ アウト、インの判定を巡って相手側コートへ行くことは認めない。
- ・ 試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない(ストリングロゴは、禁止)。

4. 持ち物とゴミについて

- ・ 持ち物は各自が責任を持って管理すること。大会会場の美化には最大限協力しなければならない。
- ・ ゴミは必ず各自で持ち帰ること。

5. その他

- ・ 試合開始後、試合に出場している学校や個人が会場のコートを借りて練習することは禁止する。
- ・ 試合において不正があった場合、また、器物破損などの暴行を働いた場合はその生徒の所属する学校を対象に処分を行う。
- ・ レフェリーや会場の係りの指示・注意を守り、テニスプレイヤーにふさわしい行動をとること。
- ・ JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- ・ 大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 - ①大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 - ②了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。